

VIEW

No. 45

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

『宣言！私は出勤遅延を起こさない！』

で社員へのプレッシャーはいかばかりか！！

前年度、大阪交番検査車両所で4件の出勤遅延があり、ワースト1だったとして4月16日から終了点呼の際に社員が順番に行っている「出勤遅延防止3原則」の唱和の後に点呼場に並んでいる社員に向き合って「宣言！私は出勤遅延を起こさない！」と唱和するという「対策」が追加されました。

出勤遅延を多く発生させた職場として「新たにこのような対策を実施しています」と言いたいのでしょうか、このように「対策のための対策」や「精神論」ばかりを追求するやり方は現場管理者の自己満足ではないでしょうか。

例えば、土・日・祝日が出勤日の前日に「明日は出勤です」とか、連休があった場合に「次の出勤日は〇〇日です」とか確認する方がよほど科学的な「出勤遅延防止対策」ではないでしょうか。

ましてや、過去に不幸にも「出勤遅延」を起こしてしまった社員へのプレッシャーは想像以上に重いのではないのでしょうか。出勤遅延してしまった社員は会社から長時間事情聴収され、それなりのペナルティを受けます。以前も大阪交番検査車両所で複数回出勤遅延した社員のことを『累犯者』と犯罪者扱いする掲示を貼っていたことがありましたが、「社員にプレッシャーをかけて言う通りにさせる」という、このような会社のやり方はいかななものなのでしょうか？！そして『命令と服従』と言わんばかりの一貫したこのような会社の姿勢は日頃の「社員管理」にも滲み出ています。こうしたやり方は私たちの「本来業務」である新幹線車両の検修業務にプラスになるのでしょうか。ましてや「何かあった時に直ちに報告する」といった現場管理者との「信頼関係」は醸成されるのでしょうか？！

社員の皆さんはどう考えますか？！